

プロセス5 成果を振り返る(確かめる)

項目	事業名	担当課	(1)令和元年度実施状況				(2)目標指標の状況				
			取組内容	協働の相手		事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値(H27)	目標値(R3)	現状値(R1)	今後の方向性
				①~⑦	団体名						
(1)「協働のまちづくり」事業の検証	行動計画の進行管理	市民協働推進課	・各担当部署における事業の実施 ・平成30年度実施状況調査の実施	—	—	B	・掲載事業の実施状況調査による振り返りを行うことで、協働への意識啓発及び事業の改善等につながった。 ・数値目標では計れない「協働の効果」についての検証方法について検討した。	事業実施数 84事業	事業実施数 110事業	事業実施数 95事業	次期計画に向けて取り組み内容や実績報告について検討を行いたい。
(2)評価・公表するガイドラインの確立	協働事業に係る評価・公表制度の検討	市民協働推進課	未実施	—	—	D	職員が「協働」についての「理解」を深め、行動計画についての、自己評価が確立してからでない、第三者評価や公表までに至らない。	制度の構築 未実施	制度の構築 実施	制度の構築 未実施	各課における行動計画の自己評価、目標指標の状況について確認し、次期計画の際に検討したい。
(3)市民意向の把握	第2次総合計画策定に向けた市民アンケート調査	企画政策課	令和3年度末で計画期間が終了する第2次那須塩原市総合計画前期基本計画の基本施策における満足度・重要度調査を行うとともに、現在の市民ニーズを把握し、令和4年度から始まる第2次那須塩原市総合計画後期基本計画策定のための基礎資料とするため、市民2,000人を対象にアンケート調査を実施する。	—	—	A	調査票自体の改善や、御礼状を送付するなどし、回答率を高めることができ、目標指標を大幅に上回ったため。	回答率 30.9%	回答率 37.1%	回答率 52.5%	計画より早く目標値R3を達成したが、今後も同事業を実施する際には、現状の数値を維持できるよう実施方式を工夫する。
	協働事業参加者へのアンケート調査	市民協働推進課	地域活動・市民活動交流会でのアンケート調査の実施	①②	個人、NPO法人、自治会、ボランティア団体等	C	アンケートの調査項目を検討	アンケート調査 実施	アンケート調査 充実	アンケート調査 実施	アンケートの結果を基に今後の協働事業のあり方を検討したい。